教室での授業が進化してます！

こどもたちが未来に向かって自分らしく生きていくために、久喜市では、さまざまな学びの場を通じて、一人ひとりの「知りたい」「やってみたい」を大切にします。



学びの道具

タブレットはコミュニケーションツール

教科書、ノート、筆箱、そしてタブレット。今や、タブレットも当たり前にある文房具のひとつです。タブレットで撮影した画像を写真として記録したり、オンラインで課題を提出したりするなど、授業で学んだことや自分で考えたことを表現するコミュニケーションツールとして活用しています。







学び方

学んだ知識を使って考える

授業で学んだことを、別の学習や身近な課題に生かしています。説得力のある発表を行うために、国語で学んだ文章構成を考えたり、アンケート結果を算数で学んだグラフで見せたりと、学んだことを総合的に生かしてより深い学びに取り組んでいます。



学びの主体

教わるだけでなく自分で探究的に学ぶ

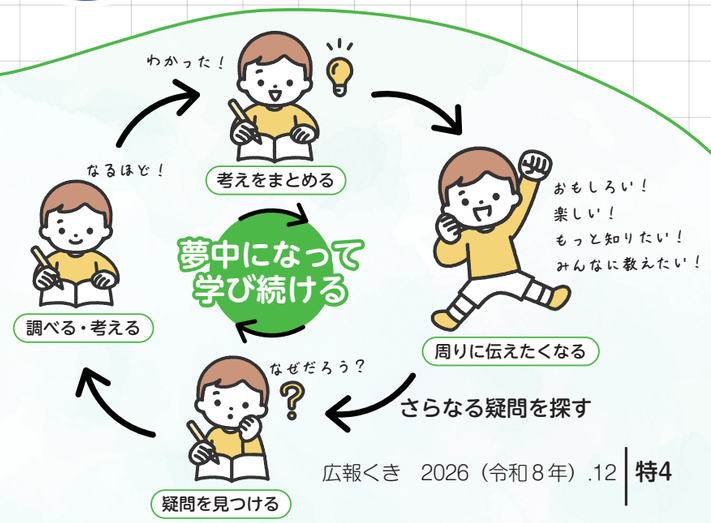
先生が黒板の前で話し、それを聞いて学ぶだけでなく、こどもたちが自分で疑問を見つけ、調べながら学ぶ授業を進めています。「もっと知りたい！」という『わくわく』の気持ちを大切に、学びの主語が「先生が教える」から「こどもが学ぶ」へと進化しています。





未来を切り拓く原動力は『わくわく』

こどもたち自身が身の回りのことから疑問を見つけ、自分で情報を集め、時には友達と話し合い、自分なりの答えを見つけていく「探究的な学び」。学ぶ楽しさや「もっと知りたい！」という好奇心を大切にして、自ら夢中になって学び続けられる教育を進めています。こどもたちの『わくわく』が原動力となって、未来を切り拓く力につながっていきます。



こどもたち一人ひとりが人生の主人公

今のこどもたちは、学習に端末を使用することは当たり前。学びの幅も広がり、地域や社会とつながった学びや探究的な学びが充実してきたことにより、興味・関心に応じて、自分に合った学び方やスピードで、主体的に学習に取り組める環境に変わってきています。自分たちのアイデアで身近な問題を解決しようと試行錯誤したり、学んだことを自分の言葉で表現するなど、自ら学ぶ授業が多く行われるようになりました。目をキラキラと輝かせながら学ぶこどもたちの姿から、「新しいことを知る」こと、「できなかったことができるようになる」こと、つまり**学ぶことは楽しいこと**なんだと改めて感じています。テクノロジーの進化、気候変動、国際情勢など、社会はより一層、先を見通すことが難しくなってきています。こどもたち一人ひとりが人生の主人公として、自ら学び、広く深く考え、選択しながら、自らの人生を舵(かじ)取りする力を身につけていってほしいと考えています。

久喜市教育委員会 指導課
GIGAスクール推進室　田中室長



答えの出し方

決まった正解だけでなく、自分なりの答えを出す

あらかじめ決められた正解を見つけるだけでなく、友達と意見を交わしたり、分からないことを調べたり、何度も考え直しながら自分なりの答えを探していく学びを大切にしています。







学ぶこと

地域や企業と連携して学ぶ

地域の歴史や暮らし、社会が抱える課題などを学習の題材にして、自分たちの暮らすまちに目を向け、地域の魅力や課題を見つけながら、これからの社会、自分たちの未来について考えます。





学ぶ場所

学校を飛び出し、地域を巻き込んで学ぶ

学校の中だけで学びを完結させず、地域や社会とのつながりを生かした学習も大切にしています。様々な立場の人と関わることで、人と協力する力や地域への愛着心につながっていきます。







教わり方

みんな同じではなく、一人ひとりにあった学び方をする

こどもたちの理解度や興味関心に応じて、一人ひとりに合った方法やペースで学んでいます。一人ひとりの「やってみたい！」を大切して、その子の良さや可能性を伸ばしています。





